

森林施業NPO法人 森林の風

森林の風は平成17年9月の発足以来、独自の「水源の森プログラム」に基づいた人工林施業に取り組んでいる団体です。これまでに施業を実施した森林面積は約100haを超えているほか、森林に関する人材育成や森林環境教育も積極的に進めています。

豊かな森林を未来に残すために

ボランティアの一步先へ

「森林の風」は平成17年、森林ボランティア活動に参加していたメンバーが中心となって発足しました。

活動フィールドの三重県北部の北勢地方には、養老山地・鈴鹿山脈の豊かな自然に恵まれていながら、手入れがされていないために荒れてしまった人工林も多く点在します。そんな森林の存在を知ったメンバーの「荒れてしまった森林を健康な水源の森に生き返らせたい」という願いが活動の原点となり、森を楽しむ活動から森林再生を目指す取組が始まりました。

セミプロとしての自覚を持って

会のメンバーの職業は会社員や自営業、主婦(夫)などです。年齢も20代から70代までと

平成22年、森林の風メンバーがそれぞれの得意分野を受け持って森林施業に関する知識をまとめ、「森を測る」、「基礎編まちのきこり人」、「実践！まちのきこり人」を発行しました。森林施業に携わる人の目的やレベルに応じて使い分けられるように、3冊に分けて編集するなど、使いやすくするための工夫が盛り込まれています。



御在所岳植樹事業「GOGO5500本植樹」のパンフレット

約600名参加の植樹活動で、50周年に向け、3500本の植樹を盛り上げよう！
NPO法人森林の風——御在所岳ツツジ群落保全事業
頂上に緑を咲かせGOGO植樹

群衆参加型の活動で、誰でも参加できます。参加費は無料です。
ロープウェイ・索道とともにお楽しみください。お申し込みは、お申し込みフォームから可能です。
この活動は、地域の活性化や環境教育の一環として実施されています。
多くの参加者、関係者の方々の協力により、この事業は成功しています。皆様、ぜひこの活動に参加してください。

《植樹協力方法》
参加費—苗木費(竹やぶつ苗木)×送料(送料)×植樹ポイント—3,000円
1. 植樹ポイントによる植樹 苗木セット100本×植樹料—3,000円
2. 広域による苗木提供(100本) 1本—3,000円 苗木も提供
3. 植樹ポイントの提供(100本) 苗木代は別途(苗木代は別途)の植樹料にプラス
※植樹ポイントの提供(100本)は、植樹料が別途必要となります。詳しくは、お問い合わせください。

主催：森林の風(2024年1月)
協賛：三重県庁、御在所岳ツツジ群落保全事業、御在所岳ツツジ群落保全委員会
協賛：三重県庁、御在所岳ツツジ群落保全委員会、御在所岳ツツジ群落保全委員会

NPO法人 森林の風
〒517-0233 三重県伊勢市大田4丁目11-7 TEL:0593-321-7713 FAX:0593-9443-0000
http://www.shinrin-no-kaze.org

幅広く、それぞれが自分のライフスタイルに合わせて会の活動に関わっています。

活動内容は、下刈り・地拵え・植樹・枝打ち・間伐・集材といった森林施業に加え、人材育成のための講習会開催や森林環境教育の実施、企業との連携、間伐材有効利用の推進など多岐にわたっています。



森林施業では、セミプロ集団として安全性・確実性を重視。



森林施業NPO法人 森林の風

- 会員数 (平成25年5月現在)
25名
- 活動フィールド
三重県四日市市、鈴鹿市、桑名市、
菰野町、亀山市等
- 活動日
随時(ホームページを参照)
- ホームページ
<http://www.morinokaze.info/>
- Facebook
<https://www.facebook.com/morinokaze.forum>



企業との連携では、森林再生のパートナーとなる企業・団体を積極的に募集して協働しています。今年度は企業社員及び家族延べ600人以上とともに、植樹から人工林・里山等の施業活動による森林再生を行う予定です。植樹事業では、今年度からシカの被害により被害を受けている御在所岳ツツジ群落の保全事業に着手しました。生物多様性を考え、地域の種子を採取し、竹ポットに植えて育てて使用、5年間で5,500本を植樹する予定です。

また、間伐材の有効利用も、自然環境の大

木を植え、育て、使う活動

とくに森林組合から仕事を請負って行うこともある森林施業では、チェーンソー等を使う技能の向上はもちろん、森林調査や測量の技術も習得し、セミプロ集団としての自覚を持った作業を行っています。これまでに培ってきた経験を活かした人材育成や環境教育にも力を注いでいます。森林に関心を持ち、これから森林再生に携わろうとしている人を対象に、毎年4〜7月には「まちなきこり人育成講座」、9〜12月には「まちなきこり人レベルアップ研修会」を開催しています。講座内容はレクリエーションではなく、実際に山で施業することを前提としていて、あくまで実践的で遊びの要素を含んでいないのが特徴です。また、最近では小学校への出前講座など、自然環境や森林の大切さを伝える森林環境教育にも取り組んでいます。

独自の森林再生活動 「水源の森プログラム」

切さを伝える環境教育につながる取組として積極的に進めており、薪づくりや積み木、植樹ポットの作成等を行っています。

「水源の森プログラム」は、森林の風が平成20年1月から提唱・展開している森林再生活動です。地域の人々が自ら計画・施業し、山の成長を見守り、その経験を次世代へと引き継いでいくことを目的に、講習や作業手引き発行、森林所有者への説明会等を行っています。

また、今年は若者が職業としての林業に向き合うためのイベント「水源の森フォーラム2013」も主催。語らいの中から、若者が森林とともに生きる道を探ります。

森林の風は、今後もプロフェッショナルへと近づいていくことで、会員に対して作業にふさわしい対価を支払える団体となり、組織や事業を次代に引き継いで、豊かな森林を守り育てていきたいと願っています。そのためにより多くの山林の施業に係われるように、今後とも経験の蓄積や技術の向上に取り組んでいくこととしています。



「水源の森フォーラム2013」の参加を呼びかけるチラシ